

PATO 岩手 協議会

No 67号

事務局

〒029-4503

金ヶ崎町西根真析

152

日本スキーパトール協議会
岩手県支部

<http://jspaiwate.starfree.jp/>

JASP総会

広島・宮島に各地から参加

宮島・神の島観光も仲間と楽しむ

2023年8月26日土曜日に第52回日本スキーパトール協議会総会が、広島県の安芸の宮島・安芸グランドホテルで75人（北海道から高知県までの23都道府県から家族含め約100人）が参加しに開催されました。

8月26日は10時から理事会を行い、13時から受付開始、同時に地区幹事会を行い15時から総会となりました。

総会は、小椋健司（愛知）副会長の開会宣言に始まり、遠藤正（岩手）会長が挨拶。議長に広島県の高正嗣（44期）を選出し2023年度事業報告・同決算報告を承認。2024年度事業計画・同予算案（案）も承認と順調に進み、役員の改選が行われ、遠藤正会長以下の役員体制が承認され、次回総会の長野県茅野市「エクスibble蓼科」のPRが長野県の田村一司さんから行われ、廣田正利副会長（富山）の閉会宣言で終わりました。

〈宮島で記念スナップ岩手〉



その後、特別講演の石見神楽（日本遺産構成文化財）を拝見し、参加者全員での記念撮影を行い、懇親会に入り交流を深めました。

翌27日は、呉市の大和ミュージアムと海上自衛隊呉資料館などを見学し広島駅での解散となりました。

岩手から10人が参加

岩手県からは佐藤安美（北上）、高橋秀幸・京子夫妻（西和賀）、遠藤正（盛岡）、西館忍（一戸）、宮原利雄（仙台）、千葉芳胤・節子夫妻（水沢）、青名畑幸彦（葛巻）、齋藤孝（水沢）の会員・家族10人が参加しました。

なお、今回の岩手県の総会参加・大人の修学旅行の感想原稿が家族参加の千葉節子さんから寄せられています。今号に掲載し紹介します。

楽しかった広島県の4日間

千葉 節子（水沢）

総会前日の8月25日、仙台空港に集合後、午後2時分発の飛行機で広島空港へ出発しました。到着後リムジンバスと日本一の規模を誇る路面電車を利用して本日の宿に到着。

さて今宵の飲食はどこで？酒と肴を求めて夜の街へ。

総会当日の26日は、遠藤会長、西館監事、青名畑地区幹事が午前中理事事に出席のため、残る私たちは午後の総会開始時間まで別行動となり、ジャンボタクシーを手配し観光することにしました。黒縁眼鏡にシルバークの髪

の品の良い話し上手な運転手さんの提案で山口県岩手市へ足を延ばしました。

錦帯橋（美しい五連アーチの木造橋）、岩国城、国の天然記念物のシロヘビが展示してある岩国シロヘビの館を見て回り、昼食は名物「岩国寿司」を堪能。ついでに某氏が注文した生ビールがなかなか出てこないのを催促したところ「今やつてます」の返事に、「ビール今やつてますってどう言うこと？」

15時から75人の会員参加で総会が開催され、2023年度事業・決算報告及び2024年度事業・予算（案）と役員改選（案）が拍手で承認されました。

総会終了後には、波佐常盤俱樂部による「石見神楽」（演目：天神・大蛇）の特別公演があり、4頭の大蛇を須佐之男命（すさのおうのみこと）が退治する場面は大迫力で、おもしろ身乗り出して見入っていました。

懇親会では全国各地の地酒や広島名物の焼きそば入り

お好み焼を味わい、参加者の皆さんと親睦を深めることができました。

翌27日は呉市に移動し、10分の1スケールで再現した戦艦「大和」がシンボルの「大和ミュージアム」（呉市海事歴史科学館）と「つづのくじら館」（海上自衛隊呉資料館）を見学し午前で解散となりました。

午後は岩手の10人で、広島平和記念公園と宮島を結ぶ高速船で宮島へ。厳島神社を参拝し表参道商店街を散策後、貸切り？（客は私たちだけ）状態の宮島フェリーで広島市内に戻り、本日の慰労会へと街に繰り出し楽しいこれまたひととき。

翌28日は、市内循環バスに乗車し広島城、原爆の惨状を伝える原爆ドーム、広島平和記念公園、平和記念資料館を見学し、午後4時頃広島を後に帰路の仙台空港に。

暑く、そして楽しかった4日間を振り返りながらそれぞれ帰途に着きました。来年の総会は、長野県蓼科高原とのこと。ぜひ皆さん参加しましょう。ありがとうございました。

〈岩国市の錦帯橋〉

